

別紙 2

2 (2) いじめの早期発見、(3) いじめの対処

対応の流れ	教職員の動き等	留意点
<p>1 <u>いじめ情報のキャッチ</u></p> <p>(1) 朝の出席確認、健康観察 (2) 学校生活アンケートの定期的な実施 (3) 日記の活用、連絡帳の確認 (4) 日常のコミュニケーション (二者面談を含む) (5) 保護者との協力・連携 (6) 関係機関との情報交換と連携 (7) 家庭地域との連携</p> <p>2 <u>報告</u></p> <p>(1) 憶測を入れず、事実のみを報告</p> <p>1日目に対応 (その日に)</p>	<p>担任 ← 生徒・教職員・保護者・地域 (情報)</p> <p>担任 → 学年主任・関係職員 (報告)</p> <p>生徒指導主任 管理職 (生徒指導委員会)</p> <p>↓ 指示</p> <p>生徒指導主任・学年主任・担任</p> <p>※小さなトラブルは、すぐに対応</p>	<p>○小さなトラブルを見逃さないようにする。 ○全教職員ですべての児童を見守る。 ○報告は早く、正確にする。(5W1H)</p>
<p>3 <u>事実の正確な把握・情報収集</u></p> <p>(1) いじめられた生徒・いじめた生徒から事実確認・情報収集 (2) 他の生徒、教職員から事実確認・情報収集</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「いじめ対策支援チーム会議」</p> <p>① 被害者直接指導班 ② 加害者直接指導班 ③ 指導サポート班</p> </div> <p>迅速な対応 (その日に)</p>	<p>【いじめと認知、判断した場合】</p> <p>関係教職員</p> <p>↓ 事情聴取</p> <p>被害者 加害者 他の生徒</p> <p>↓ 情報の突き合わせ</p> <p>関係教職員</p> <p>↓ 報告</p> <p>管理職 (生徒指導委員会)</p> <p>↓ 指示</p> <p>生徒指導主任・学年主任・担任</p>	<p>○訴えに対しては、その日のうちに行動する。 ○被害者の「大丈夫」は鵜呑みにしない。 ○傾聴、共感的理解、適応へのサポートをしっかりと行う。 ○恐喝、暴力行為等は警察等と連携する。 ○見通し (生徒への指導・保護者への対応をいつまでに・誰が・どこまでやる)を確認・共有する。</p>
<p>4 <u>いじめへの対応</u></p> <p>(1) いじめられている生徒への支援 (2) いじめている生徒への指導 (3) はやし立てる、見て見ぬふりをする生徒への指導 (4) 担任から保護者へ連絡</p> <p>迅速な対応</p>	<p>全教職員</p> <p>管理職 担任 学年教職員 生徒指導主任 他学年の教職員 養護教諭</p> <p>(1) いじめられている生徒の支援 (2) いじめている生徒への指導 (3) はやし立てる生徒、見て見ぬふりをするする生徒への指導</p>	<p>○個人で対応することなく、学校全体の問題としてすべての教職員が関わる。 ○毅然とした態度で対応する。 ○指導のポイントを明確にする。 ○「あなたのことが心配」というスタンスを忘れない。</p>
<p>5 <u>いじめの経過観察</u></p> <p>(1) 変化を見守る</p>	<p>被害者、加害者、周囲の生徒を見守り、問題を繰り返さないよう心の成長をうながし、行動の変容を観察する。</p>	<p>○いじめの完全な解消と望ましい人間関係の構築を目指す。</p>